

## 土砂災害に対する防災訓練

県、市及び住民自治協議会が主催する土砂災害に対する防災訓練が5月26日(土) 徳間小学校で開催され、300人余りの参加がありました。

この防災訓練は、近年自然災害が各地で多発していることから、吉・田子・田中地区の山林の土砂災害を想定。関係機関と地域住民が一体となって、避難情報の発令や迅速な住民避難などの訓練を通じて、防災意識の高揚を図る目的で実施しました。

避難訓練に集まった住民の皆さんは、徳間小学校で土のうづくり、シート張り工法、倒壊家屋からの救出訓練などを体験しました。



熱心に受講している倒壊家屋からの救出訓練

日頃の訓練が災害に強い安全な地域づくりにつながります。防災部会では、秋にも情報伝達・避難所運営訓練(HUG)などの防災訓練を予定しています。



## 平和への誓いを新たに

戦没者260余名の冥福を祈る、若槻地区戦没者追悼式が6月5日(火)、若槻コミュニティセンター体育館で行われ、遺族をはじめコミュニティわかつき関係者135名が参列し、黙祷をささげました。

式では、大塚武雄コミュニティわかつき会長が「ご遺族の皆様のご心情をお察する時、胸中万感迫るものがある。今日の平和と幸せな生活が、戦没者の皆様の尊い犠牲の上に築かれていることを忘れてはならない」と式辞を述べました。

この後、鈴木清県議会議員、藤沢敏明若槻地区遺族会会長が追悼のことばを述べ、参加者全員が思いを込めて祭壇に白菊を献花しました=写真。

式の後、若槻公民館で活動している謡曲、オカリナ、コーラスの団体の皆様による追悼演奏会が行われ、厳粛なうちにも和やかな追悼式となりました。

